

## アメリカ航空宇宙局（NASA）長官特別交流会

三小田 博 昭

### （1）目的

米国からの要人を学校に迎え、直接交流することで生徒たちが日常生活から抜け出し、自分たちの思いを世界にそして宇宙に巡らせる機会となることを目的として実施した。要人を学校内の迎え入れるためのセキュリティー、警護、要人に付き添う関係者一行、領事館職員、大学教職員の対応等から生徒は通常の学校生活では垣間見ることさえない非日常を目の当たりにすることで、自分の将来への夢を大きく広げることにつながることも目的とする。

### （2）内容

附属中学生、高校生全員を対象として実施した。生徒は対面組とオンライン組に分かれて、Senator Bill Nelson氏との交流を実施した。オンライン参加生徒は各所属教室で同時配信された映像に見入っていた。また、名古屋大学からも総長の他、NASAと共同研究を実施している教員も交流会に参加した。交流会では、Bill Nelson長官から、対面参加の生徒とオンライン参加の生徒に対してメッセージが送られた。その後、活発な質問が、対面参加の生徒からなされた。対面生徒は80名が希望者の中から抽選で選ばれた。

### （3）特別交流会開催の経緯

今年1月13日（日本時間14日）日米両政府は宇宙分野での協力を促進するための協定に調印した。この合意に基づき、両国の宇宙開発の連携が促進されており、この一環でNASAが日本に来日し、Bill Nelson長官は関連したイベントや交流会を実施した。日本における航空・宇宙産業は愛知・名古屋が先進的であるとされることから、若い世代との交流を高めるため、名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校において、生徒との交流会を開催することとなった。

### （4）来校者一覧【NASA関係者】

- 1 Senator Nelson, NASA Administrator
- 2 his wife Grace Sen. Nelson

- 3 Susie Quinn, NASA Chief of Staff
- 4 Patrick Kelly, NASA Speech Writer
- 5 Karen Feldstein, NASA Associate Administrator for International Relations
- 6 Andy Masciola, NASA International Program Specialist
- 7 Garvey McIntosh, NASA Attach.
- 8 Matthew Cenzer, U.S. Consulate Nagoya Principal Officer
- 9 Kenichi Oba, US Consulate Nagoya Political Specialist
- 10 Rika Tanaka, US Consulate Public Engagement Coordinator.

#### 【名古屋大学関係者】

1. 杉山直 総長
2. 宮武広直 理学研究科 准教授（研究者）
3. 草野完也 宇宙地球環境研究所 所長・教授（研究者）
4. 高橋暢宏 宇宙地球環境研究所 副所長・教授（研究者）
5. 中澤知洋 素粒子宇宙起源研究所 准教授（研究者）

### （5）交流内容 <ネルソン長官からのメッセージ> 司会：高校2年生

- ・生徒による歓迎のことば（3分）
- ・長官からのメッセージ（15分）
- ・質疑応答（15分）
- ・座談会（20分）

### （6）報道状況

- |       |   |
|-------|---|
| NHK   | <a href="https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230209/3000027525.html">https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230209/3000027525.html</a> |
| メーテレ  | <a href="https://www.nagoyatv.com/news/?id=017332">https://www.nagoyatv.com/news/?id=017332</a>                                     |
| CBC   | <a href="https://www.youtube.com/watch?v=CkFacYIW6Jk">https://www.youtube.com/watch?v=CkFacYIW6Jk</a>                               |
| テレビ愛知 | <a href="https://www.youtube.com/watch?v=luYMvccVC-4">https://www.youtube.com/watch?v=luYMvccVC-4</a>                               |
| 中京テレビ | <a href="https://news.yahoo.co.jp/articles/ee8f55bb">https://news.yahoo.co.jp/articles/ee8f55bb</a>                                 |

4a54b48a66b4d02bdaa589b507000d54

## (7) 当日の様子



い距離で聞けるという体験はもうできないと思うので、この貴重な経験をもとにして自分の進路を考えていきたいと考えた。

- ・ネルソンさんが宇宙から地球を見たとき、「何の分裂も見えなかったけど、森林が破壊されていることや土砂が海に流れ出ていることはよく見えた」と言っていたのが印象的だった、自分たちでこの地球の環境を守っていかなければならないと感じた。また宇宙から見たら地球の人々の分裂は見えなかったという言葉を受けて、同じ地球に数でいる一員としてみんな笑顔で平和な地球を作っていきたいと感じた。
- ・今回の交流会で印象に残っていることは、「火星に行くために準備することはあるか」という生徒の質問にネルソン長官は「まず火星に速く行く方法を見つけなければならない」と答えてくれた。今のスペースジェットに搭載されているエンジンを超える高出力のシステムを開発する必要があるということ。新たな高出力かつ環境にやさしいシステムが実用化されるのが楽しみである。
- ・私は昔から宇宙に興味があったので、とても興味深いお話を伺うことができ本当に楽しかったです。まさかネルソン長官ご本人が宇宙に行ったことがあるとは知らなくて驚きました。宇宙から地球を見たときに分断しては見えなかったというお話が心に残りました。世界中の様々な場所で戦争や紛争が起こっている世の中ですが、これは人々が宇宙から見た地球のことをわすれてしまっているからではないのかと思いました。
- ・僕は「Be your BEST!!」というネルソンさんの言葉に惹かれました。自分が目指す最高のところに行けばよいということを知り、全力で自分自身を高めていくきっかけになりました。僕たち人間は、協力して地球規模の課題を解決していくべきだと感じました。

## (8) 生徒の感想

- ・話を聞く前は、難しい宇宙の話なのかなと思っていたが、実際に話を聞いてみるとネルソン長官が宇宙に行きたくて行ったことや感じたことのお話でとても興味深かった。宇宙はすごく遠い世界だと思っていた、宇宙についてよく考えたことはなかったが、お話を聞いて宇宙のおもしろさに気づいて、私も行ってみたいと思うようになった。NASAの長官の方のお話をこんなに近